

会 議 録(要 約)

日 時	平成30年2月5日(月) 午後1時30分から	
会 議 名	南関町庁舎等建設委員会議(第7回)	
出 席 者 職・氏名	委員・南関町	別紙委員名簿のとおり
場 所	南関町役場 第1会議室	
<p>(内 容)</p> <p>次第 1. 開会 2. 委員長挨拶 3. 議事</p> <p>(1)「議場について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A、B、C案の説明(事務局) <p>プロポーザル時点ではC案を考えていました。もともと学校の用途のため、空調のダクトを通す天井ふとところがないため、柱梁はそのまま屋根スラブを抜いて天井を上げる案を考えていました。基本設計で設備と協議した後、議場横の空調機械室から吹く方法も可能ではないかという案がでてきて、わざわざスラブを抜いて天井をあげる大がかりな工事をするよりも、現況議場の天井高さが確保できるB案がよいのではと社内で協議していく中で案を出しています。</p> <p>Aは、南関らしさをつくるため、木を多用した天井としましたが、圧迫感がぬぐえなかったため、天井を部分的に上げる案を考えました。柱・梁は壊せないため、極力天井をあげれば現況議場の天井高さに近い、B案を提示しました。</p> <p>→いまさら柱や梁が抜けないといわれても困る。ほかの町の議場は天井高さは高い。また、ここだけの金額をだされても他との兼ね合いがわからない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議場以外の部分は金額はだしているのか。 <p>事務局→積算中であり、議場のみ先に提示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局を含め、設計者はどうお考えか。 <p>事務局→当初(プレゼンテーション時)は天井を上げますと聞いていました。構造については素人ですので、梁が残るとは想定していませんでしたが、構造上梁は残さないといけないことが設計者からの説明でわかりました。梁が残った場合、天井をあげても梁が残るため、おかしな形になります。あらたにA,B案を提示してもらい、庁内プロジェクト会議で協議の上、B案に落ち着きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天井があげられないという理由で、構造的なことなのか、コスト的なことなのか。設計者としてそのプロセスを示していただきたい。梁がとれないとわかればそれでよいと考えていますがいかがか。 <p>事務局→構造体の梁をとることが不可能だとわかったのが耐震診断の資料を確認した後です。梁がとれないと、段差をつけた場所は梁の下端は圧迫感があります。プロポーザル時点で詳細な資料をいただくことはできないため、そこまではわかりません。そこで、他案を考え、A,B案を提案している状況です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつの考え方として、梁を残して壁から空調をするという案。それでいくかどうかの判断はコストだと思う。お金を比較してそれでいくかどうかではないか。 		

→通常の議場は梁があるC案のようなものではない。天井が高いものが議場だと思っている。プロポーザルを経て、A,B案がでてくるのはおかしいのでは。委員会の前に特別委員会など開催してA,B案を説明するべき。執行部はB案でいきますというのはおかしいのではないかと。

→様々な案がでてきて、それらを今日議論する場だと思っている。B案を決定する場ではない。議論するのが委員会の役割ではないか。議場の天井をあげるとお金がかかる、それでもお金をかけるべきか協議するのが今日の委員会の目的ではないか。

→総額の金額は聞いていない。改造改造といっていたら工事費がどんどん上がっていく。一番最初に決めた工事費でおさめたいのが当然。C案は梁がないのを当初より思っていた。金額はあげたくない。途中でB案、A案がでてくるのはおかしいのではと思う。

委員長→唐突すぎるということですね。少しでも他を削って議場にお金をかけ、天井高を確保するという事に合意が得られるかどうかだと思います。

・今の柱・梁を撤去して、かさ上げして再度柱・梁をつくることは可能なのか。

事務局→技術的には可能ですが、工事費と構造的な問題があります。耐震診断書をチェックする中で、耐震強度が低いことがわかりました。そのため、梁がとれません。日本の技術では柱をいったん切ってつけかえることはできますが、他の部材に負担がかかるため、この建物には難しいと判断しました。この建物にどこまでお金をかけるか、また、どこまで我慢できるのかをご意見いただきたいと思っています。

平成12年に行われた耐震診断の資料ではコンクリート強度がでていません。明日強度の試験を行う予定です。今は当時の強度を引用していますが、その結果によっては更に補強の必要がでてきます。その場合には鉄骨梁にて補強を考えています。管理棟は地震時の強度も足りていないため、増打壁や開口をふさぐことで耐力を増やす方法を考えています。

委員長→プロポーザル時点の限られた資料では、わからなかったということで、詳細な検討をしていく段階で、柱・梁がとれないことがわかったということですね。柱・梁は残してもデザイン性が高く天井高さが高く感じるような案を提案するべきではないかと思いますがいかがでしょうか。空間として整っていれば、天井高さの課題は良いと思います。

技術的な検証をして、時間をかけて柱・梁が取れないと分かったという点で、ご理解いただいでしょうか。そのうえで、C案で天井を高くする案を考えて比較してもう一案出すのはいかがでしょうか。

→この部分だけで判断するのは難しいと思っている。トータルのコストがでて、選択式だとわかりやすい。

事務局→全体的な工事費はまだ見えていないが、この建設委員会では決定ではなく、ご意見をいただきたいのが趣旨。

→どの町に行っても議場は天井が高い。B案のように梁がどうしても残るならば、昔の家のような梁をみせる構造にもできるのでは。そこを言わせるのに8月から時間がかかりすぎている。前もって言うだけでいいのだが、何をやっているのかと思っている。

執行部も設計者も配慮してほしい。ほかの議員の思いもあるのでB案にプラスアルファで意見がいえる。よろしくお願ひします。

委員長→設計者もこの議場だけを考えていたわけではないことをご理解いただきたい。B案でできるだけ、意匠上の工夫で天井高さが高く感じるような案を提示のこと。

→委員がわかりやすいように今の部屋の高さと比較しながら、説明すると理解しやすいため、具体的な説明をお願いします。

(2) 基本設計書概要について

- ・西日対策について教えてください。

事務局→ 西面のガラスは遮熱性のあるLow-eガラス、屋内にはブラインド設置を考えています。

- ・床材について新しい素材だが、耐久性等は大丈夫か。

事務局→新しい素材でまだ実績がありません。不安が残るため、メーカーに耐久性やそり・湿気等の対策を問い合わせていきます。

- ・断面図の夏至や冬至の光のラインが方向が西側なのでちがうのではないか。

事務局→ 誤解があるため、修正します。

- ・外構仕上げの芝と人工芝についてコストやメンテナンスについて比較してほしい。また、中庭のウッドデッキの素材について、木と樹脂等の差を比較してほしい。

事務局→ 人口芝は考えていません。人工芝は事務局で試算しましたが、コストがかかりすぎます。また、ウッドデッキの素材については比較資料を作成します。

- ・分煙などはどうお考えか教えてください。

事務局→ 保健センター側は禁煙です。生涯学習エリアに1～2か所程度の設置を考えています。

- ・調整池が1,200㎡とあるが、これだけ面積がいるのか。

事務局→必要です。地下貯留といった方法もあるがコストがかかります。実施設計段階で県と協議をした上で容量や方式を決めてご報告します。調整池は有効活用の点でもったいないという意見もありますが、排水に関してはきちんと確保していきたいと考えています。

- ・ユニバーサルデザインについて各階色分けしてわかりやすくなど、含まれているか。

事務局→ サイン計画に含まれる。面で表現することも考えています。実施設計で詳細検討します。

- ・誘導ブロックの番号がないが、設置するのか。

事務局→ 室内まで設置するとつまづく人が居られるため、敷地から総合案内まで設置を予定しています。

- ・生涯学習ゾーンにトイレがないが、トイレは設置しないのか。

事務局→新設は考えていません。旧教室棟のトイレを利用させていただく計画としています。また、外部にトイレがないため、防災広場等にトイレ設置は今後検討していきます。

委員長→生涯学習ゾーンは既存をなるべく活用するということでご理解いただいたほうがよいですね。

- ・構造計画で、地盤改良がいくらくらいかかるか、みなさんにお示しすることはできますか。

事務局→ 概算で2千万程度です。この土地は液状化する可能性があります。そのため、地盤改良にて液状化を防止し、不動沈下を防ぐ対応を計画しています。

- ・設備計画で、管理棟と渡り廊下、渡り廊下は同じレベルがよいのではと思う。デッキ等を同じレベルで張ることで、増築棟から改修棟まで移動がしやすくなるのではないか。

事務局→旧東渡り廊下は階段からスロープに改修し、バリアフリー対応を想定していますがご意見を踏まえて検討します。

(3) その他質問について

- ・喫煙を否定せずに、喫煙所を設けてほしい。また、自動販売機はどの辺に設置しますか。

事務局→喫煙者のことも配慮するよう今後検討していきます。自動販売機を設置する場合、旧管理棟1階の休憩室に設置を想定しています。

- ・中庭のデッキ空間は職員だけでなく、町民が休憩できるスペースとしてほしい。
- ・町のシンボルとして、設計者の意図を教えてください。また、増築される外壁等に小代焼きを利用した壁や南関町らしく改修した建物の外装を関所のまちらしく塗装するなど具体的なものはあるか。

事務局→高さがないため、建物自体はシンボルにはなりにくいと考えています。新しいまちづくりの拠点としての顔づくりを行い、次の展開ができるように計画したいと考えています。小代焼きを使うイメージはもっています。まだ窯元に行くなどはしていませんが、外装や内装に使うイメージは持っていますが、まだ具体的なイメージは進んでいません。また、樹木の種類などは次のまちづくりに展開できるよう選定などは今後検討していきたいと考えています。

- ・既存の建物の外壁は塗装するのか。

事務局→クラックが多く見受けられます。それは補修する予定です。詳細な資料を見ていく中で建物の耐久性がないことがわかってきました。建物なのでいずれは建て替えをしないといけないと考えています。劣化している場所を全て改修するとコストが大変かかります。建物の更新時期も近づいているため、未来を見据え、どこまで改修にお金をかけるか判断を今年度中にしなければいけないと考えています。

委員長→新しく全て塗装できるか今の段階ではわからないということ。以前から下田委員が宿題を投げているが、そういった事情があるということで、色等まで踏み込めないということか。

- ・シンボリックなものをしてもらいたいという意見はぜひ取り入れてもらえればと思うが。
- ・敷地で関所マラソンや出初式、関所まつりなどが集約して行えるのではないかと思っている。先ほどのシンボル性のところでモニュメント等も設置できるのではと考えているがどうか。

事務局→シンボル性のところで、広場をテーマにしたワークショップを3月11日と3月25日に開催予定しています。そこでもシンボルとなるようなアイデアをみなさんから募集しています。一般参加者は公募で10名募り、2回参加できることを条件に募集しています。区長便で15日頃みなさんに配布予定です。ワークショップの参加者はトータルで40名程度で、PTA会長や区長会長、中学生、消防団、婦人会、生活研究グループ、保護者会長などで30名と先程の一般公募で10名予定です。

- ・1階には総合案内は設置するのか。

事務局→こもれびホール周辺に設置は考えています。

- ・南関高校の譲渡について、いつになるのか。

事務局→県から明言はさけてほしいと言われていています。町からは明言できません。県の議会の議決をおえてから名義がかわる想定ですが、それがいつかは明言できません。

- ・南関高校で最後のイベントを4月に計画しているが、県所有だと許可がおりない。

事務局→県の所有のうちには町ではなく、県へ了解を受ける必要があります。

- ・今月中に選挙があるが、議会選出はお二人続投予定でよろしいでしょうか(事務局)。

→一同了承。

(2)「その他次回建設委員会の日程等について」

日時:平成30年3月19日 午後1時30分～

場所:南関町役場第1会議室

閉会

第7回庁舎等建設委員会

日時：平成30年2月5日(月)午後1時30分～

場所：南関町役場第1会議室

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 審議

(1) 庁舎等建設基本設計について

(2) その他

4. 次回の日程について

日時：平成30年3月19日(月)午後1時30分～ 時 分

場所：南関町役場 第1会議室

5. 閉会

南関町庁舎等建設委員会名簿

番号	職名	氏名	備考
1	委員長	西郷 正浩	
2	副委員長	井上 繁孝	
3	委員	境田 敏高	
4	委員	立山 比呂志	
5	委員	花見 洋昭	
6	委員	福山 正英	
7	委員	野田 紀久子	
8	委員	裕村 公正	
9	委員	中村 正雄	
10	委員	北原 浩一郎	
11	委員	西田 由実	
12	委員	下田 眞一郎	
13	委員	雪野 栄二	
14	委員	大里 耕守	
15	委員	大木 義隆	
16	委員	西田 裕幸	
17	委員	島崎 演	
18	委員	北原 宏春	
19	委員	古澤 平	
20	事務局	坂田 浩之	
21	事務局	高木 正臣	
22	事務局	大森 敏和	